

受付番号	令和 6 年 11 月 28 日
/	午前 10 時 36 分 受領

令和 6 年 11 月 28 日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 羽田野 孝子



一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問項目	質問の要旨	質問の相手
地域計画について	<p>来年 3 月の策定に向けて農業経営基盤強化促進法に基づいた「地域計画」の策定が進められている。農業生産の現場は混沌状況であり、食糧危機が消費者からも心配される状況と受け止めているが、活気ある農業生産への希望をもって伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域計画の進捗状況について。 意向調査配布数と回収率、協議の場の開催状況と出席状況、計画策定に係る検討会の委員構成。 2. 地域計画策定の課題は。 3. 地域計画の達成に向けた市の取組は。 	市長

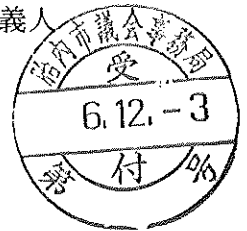
質問項目	質問の要旨	質問の相手
<p>小中学校不登校児童生徒への支援について。</p>	<p>全国で不登校児童生徒が増え続け、2023年度は34万6,482人で最高人数に達したと報道された。県内でも不登校の児童生徒は5,617人、8年連続で過去最多を更新したと2024年11月1日付けの新潟日報に掲載された。胎内市の現状と対策について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校の不登校児童数、中学校の不登校生徒数について。考えられる不登校の要因は。 2. 小学校不登校児童への支援。中学校不登校生徒への支援の現状について。スクールカウンセラー等の支援が適時に受けられなかったと聞くが、その実態は。 3. 不登校児童生徒の居場所づくり、校内教育支援センター等の設置が必要ではないか。 4. 不登校児童生徒の健康診断受診状況について。 	<p>教 育 長</p>
<p>乳幼児の紙おむつ支給について</p>	<p>去る11月23日の女性委員・会員等と議会の意見交換会で、「赤ちゃんの紙おむつを入れるごみ袋は支給されるが、紙おむつを支給してもらえば子育て支援で助かると思う」と提案があった。</p> <p>乳幼児の親にとって本当に必要としている物を支給することで、子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えることができると考えるが、紙おむつの支給について伺う。</p>	<p>市 長</p>

受付番号	令和6年/2月3日
2	午前8時30分受領

令和6年12月 3日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 天木 義人



一般質問通告書

胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告いたします。

	質問の要旨	質問の相手
生涯学習施設について	<ol style="list-style-type: none"> 生涯学習施設の建設候補地について、整備基本計画では検討結果から、市有地の関沢地内(嘉平山)が最有力とあるが、市民の意見の聴取や説明会は開催しないのか。 候補地選定にあたっては、今後計画されている中学校統合と、その後の小学校再編と併せて検討しては。 生涯学習施設の建設候補地の予定面積は。また、嘉平山の整地にはどれくらいの金額が見込まれるのか。 生涯学習施設の屋外広場に大型遊具の設置の考えは。 	市長
小・中学校統合について	<ol style="list-style-type: none"> 統合中学校の建設候補地にもなっている旧中条体育館の跡地は、現況の道路が狭いため利便性を考慮すると幹線道路の整備が必要とあるが、将来の跡地の利用計画は。 少子化が加速的に進んでいる中、中学校統合を早期にできないか。また、人口減少が続く中、10年後の財政の改善は見込めるのか。 小学校再編の見込み時期は。また、再編の規模は。 	市長 教育長

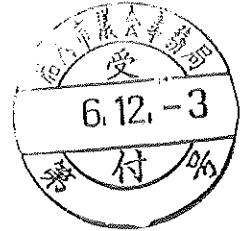
<p>介護政策について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護施設待機者の現況と将来の見込みは。 2. 国においては、在宅医療介護を推奨しているが、現況と市の支援状況、今後の見通しは。 3. 高齢者単身世帯及び2人世帯の増加がみられるが、要介護になった場合、施設に即入所できるのか。また、老老介護の現状は。 4. 介護施設の老朽化により建て替えを検討していると聞くが、その場合、市からの支援はあるのか。 	<p>市長</p>
<p>市営施設について</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 長池農産物直売所リップルの再建計画と周辺の整備計画の策定は行うのか。 2. 来年度に向けたロイヤル胎内パークホテルの具体的なイベント計画や集客目標・収支見込みは。 3. 昨年度、ロイヤル胎内パークホテルの胎内市民限定宿泊プランの利用者が5名と少なかったが、市民へのPR、サービスをどの様にとらえ実施したのか。 4. ロイヤル胎内パークホテルの温泉は利用者に好評であるが、利用時間に制限があるために市民は利用しづらいと聞く、ホテルの温泉を利用した日帰り温泉施設の建設を考えては。 	<p>市長</p>

受付番号	令和 6 年 12 月 3 日
3	午前 11 時 50 分 受領

令和 6 年 12 月 3 日

胎内市議会議長 八幡元弘 様

胎内市議会議員 坂上 隆夫



一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
有害鳥獣対策について	<p>鳥獣被害が深刻化、広域化しています。特に市内山間部では猪の被害が増えている状況です。鳥獣被害は営農意欲の減退、耕作放棄・離農の増加につながり、被害額として数字に表れる以上に深刻な影響を及ぼしています。対策としては、担い手の確保、捕獲の一層の推進、などと言われていますが、現状と課題、今後の対策について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の有害鳥獣の捕獲数と、ここ数年（過去 3 年）の推移は。 2 猪による被害地域が拡大しているが、把握はしているのか。今年度の箱わなの設置数は。また、現状を踏まえての新たな対策など、考えはあるのか。 3 有害鳥獣捕獲の担い手緊急確保事業補助金で狩猟免許を習得した人はいるのか。また、新規習得者に一定の条件をつけて猟銃購入補助をしている自治体もあるが、市でも補助する考えは。 4 担い手の確保のため、ガバメントハンターを導入する考えは。 5 ジビエ加工施設設置の考えは。 6 市役所の屋上に GPS 固定基地局を設置したが、これで中条地区山麓をカバーできるのか。固定基地局で何機まで発信機を感知できるのか。猿の群れの数からすると少ないと感じるが、発信機の装着数を増やす考えはあるのか。 	市長

<p>のれんす号について</p>	<p>今年度からのれんす号の運行形態見直しにより、利用者のニーズに沿った利用しやすい交通環境作りをしている。また、A Iを活用して最適かつ効率的な配車を行っており、将来はスマートフォン、パソコンなどから予約ができるようにするなど、今後増加が見込まれる免許返納者にも安心して乗って頂けるよう、利用者の利便性向上に取り組むとのことだが、運行形態を変更して8か月経過した。成果と課題について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 登録者数、利用人数、運行している台数、乗車率は。また、昨年と比較して変化はあったのか。 2 A Iを活用したシステムが導入されて、昨年度より一部不便になった声も聞かれるが、様々な意見を踏まえ、改善したところはあるのか。 3 大きい荷物は持ち込みに制限があり、改善してほしいとの意見もよく聞かれるが検討してはどうか。 4 スマートフォン、パソコンなどから予約ができるようになるのはいつ頃の予定か。 	<p>市長</p>
------------------	--	-----------

(2 枚中 2 枚目)

受付番号	令和 6 年 12 月 3 日
4	午後 0 時 / 5 分 受領

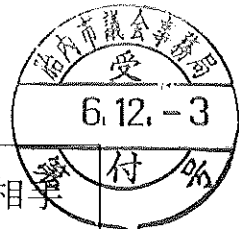
令和 6 年 12 月 3 日

胎内市議会議長 八 幡 元 弘 様

胎内市議会議員 渡 辺 栄 六

一 般 質 問 通 告 書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。



質問事項	質 問 の 要 旨	質問相手
子宮頸がん 予防ワクチン について	<p>子宮頸がんの主な原因となるヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチンについて、個別に接種を呼びかける積極的勧奨が差し控えられていたために公費接種の機会を逃した 16~27 歳の女性が無料で受けられるキャッチアップ接種が、現在実施されている。さらに、厚生労働省は先月 11 月 27 日、救済措置の期限を当初の令和 7 年 3 月から令和 8 年 3 月まで 1 年延長する方針を決めた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本市における、キャッチアップ接種対象者数と接種状況について伺う。 2 キャッチアップ対象者への制度の周知について、どのように対応されたのか。 3 HPV ワクチン接種後の副反応や何らかの症状について、市内における発生状況は。また、接種に対して不安を持っている方への対応や、接種後に何らかの症状が生じた方へのサポート体制は。 4 HPV ワクチンは男女にかかわらず接種可能で有効なワクチンである。HPV ワクチンは、中咽頭がんや肛門がん、男性特有のがんである陰茎がんなどの抑制効果も明らかになり、令和 2 年 12 月から 4 価ワクチンが男性への任意接種として承認された。国内の取り組みとして、令和 4 年 8 月から男性の HPV ワクチン接種費用の助成事業が開始され、接種費用を助成する自治体が広がりつつある。そこで、男性への HPV ワクチンへの費用助成について、本市の見解を伺う。 	市 長 教 育 長

(2 枚中 1 枚目)

<p>ごみ集積所 設置について</p>	<p>5 学校での性教育で、性別に関係なく性交渉によって、様々な病気に感染することのリスクを取り入れて教えているか。また、HPV ワクチンを接種することで、防げるがんがあることを生徒に教えているか。</p> <p>市内の、各ごみ集積所の形態は地区、あるいは場所によって様々であるので、管理・運用体制にばらつきが出てくるのはある程度やむを得ないが、できるだけ統一すべきと考える。より良いごみ集積所の管理・運用体制について、市は自治会と連携して、改善、提案すべきと考える。</p> <p>1 市内において、ごみ集積所が未設置の集落はどれくらいあるか。また、未設置集落に対するゴミの出し方の周知方法と課題は。</p> <p>2 ごみ集積所の設置基準について伺う。</p> <p>3 ごみ集積所が未設置の集落に対し、折り畳み型ごみステーションの設置を提案してはどうか。</p>	<p>市 長</p>
<p>公園の駐車場 整備について</p>	<p>若松町地内の北公園は、中条地区の中心市街地にある公園であり、木々に囲まれた落ち着いた雰囲気での憩いの場、散策の場として人気がある。また、子供たちや、親子連れで平日でものびのびとにぎやかに利用されている。</p> <p>公園利用者は、地域住民はもとより少し離れた地域からも車で訪れるが、駐車場が少ないために路上駐車をせざるを得ない。</p> <p>1 北公園利用者の駐車場が不足しているが、駐車場拡張や、新たに増設するなど整備計画はあるか。</p> <p>2 北公園付近には、空き家や空き地があるが市有地として取得し、駐車場として整備する考えはないか。</p>	<p>市 長</p>

受付番号	令和 6 年 12 月 4 日
5	午後 4 時 00 分 受領

令和 6 年 12 月 4 日

胎内市議会議員 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 丸山 孝博 様



一般質問通告書

胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
物価高騰などによる 経済支援について	<p>1 政府の「総合経済対策」重点支援地方交付金の取り組みについて</p> <p>① 低所得世帯支援枠として、住民税が課税されない低所得世帯を対象に 3 万円を支給されるが、そのうち子育て世帯には、子ども 1 人当たり 2 万円を上乗せするとしています。胎内市として、国のこうした措置に加え住民税均等割世帯等にも独自で一定額を支給してきたが、今回も同様の措置を講じ支援を強化すべきではないか。</p> <p>② 推奨事業メニューを活用した取り組みについて</p> <p>生活者、事業者支援として、プレミアム商品券や福祉灯油などの支援。燃料高騰により深刻な影響</p>	<p>市長 教育長</p>

を受けている施設園芸農家や国の介護報酬引き下げ、物価高のなかで困難な状況に陥っている介護施設等への支援をすべきではないか。

2 少子化現象が止まりません。合併時の 2005 年度の出生数は 238 人でしたが、2023 年度はついに 100 人を割り 95 人になりました。なぜ少子化が止まらないのかの一つに「子育ての困難」があります。全国の自治体が行っている対策は、保護者の経済的負担軽減による少子化対策です。学校給食の無償化や子ども医療費助成の一部負担なしの自治体数は増え続けています。胎内市でも少子化対策として同様の取り組みを実施すべきではないか。

3 大学の学費値上げが、大きな社会問題となっています。重い教育費負担の軽減は、子育て世代の強い願いです。最も力のある子育て支援策にもなります。給付型奨学金や奨学金返済支援などで教育費の負担軽減をすべきではないか。

<p>柏崎刈羽原発について</p>	<p>1 新潟県知事は再稼働について繰り返し「県民に信を問う」と述べていますが、その手法として「県民投票」で実施すべきだと思うがどうか。</p> <p>2 県知事に対して県民多数が「反対」している再稼働には同意しないことを求めているかどうか。</p>	<p>市長</p>
<p>市役所におけるハラスメント防止について</p>	<p>昨今、全国の自治体でハラスメントによる被害等が問題になっています。防止のため市役所としては、どのような取り組みがされているのか伺う。</p>	<p>市長</p>

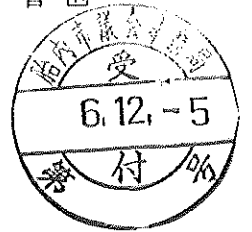
受付番号	令和 6 年 12 月 5 日
6	午前 8 時 30 分 受領

令和 6 年 12 月 5 日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 笥 智也

一般質問通告書



胎内市議会会議規則第 6 2 条第 2 項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
地域公共交通について	<p>当市の地域公共交通として「のれんす号」が稼働しているが、その現状と今後について伺う。</p> <p>1 現状について</p> <p>(1) 運営形態と負担額は。</p> <p>(2) 運転手の年齢構成は。</p> <p>(3) AI デマンドシステム導入による効果は。</p> <p>(4) のれんす号の今後の活用の幅をどう捉えているか。</p> <p>2 地域公共交通のり・デザインについて</p> <p>(1) 国土交通省において支援事業対策となる交付金制度があるが、活用の有無は。</p> <p>(2) 自動運転等の「交通 DX」、車両電動化や再エネ地産地消などの「交通 GX」への考えは。</p>	市長
自転車利用者について	<p>小中学生を含む自転車利用者の交通違反行為が多くみられ、いずれ事故につながる事が懸念される。そうなる前に市で対策できることがないか伺う。</p> <p>(1) 自転車利用者への啓発はどのように行っているか。</p> <p>(2) 中学校の自転車通学に対して、学校ごとの規則に準じた対応は。また、その効果は。</p>	市長 教育長

(2 枚中 1 枚目)

生涯学習施設整備について	<p>本年8月に、胎内市生涯学習施設整備基本計画（案）が示されたが、現状と今後について伺う。</p> <p>(1) PPP／PFIの導入が検討されているが、その意図は。また、メリット・デメリットは。</p> <p>(2) 近隣行政区において、PPP／PFIを用いて建設された事例はあるか。あるのであればどのようなものか。</p> <p>(3) 現在サウンディングにはどれくらいの民間事業者の参加があったか。</p> <p>(4) PPP／PFIで進めるとなった場合に市民の声を聞く機会はあるのか。</p>	市長
--------------	--	----

(2枚中2枚目)

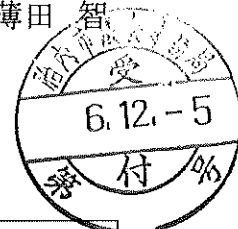
受付番号	令和6年12月5日
7	午前 9時37分受領

令和 6年 12月 5日

胎内市議会議長 八幡 元弘 様

胎内市議会議員 薄田 智

一般質問通告書



胎内市議会会議規則第62条第2項の規定により、次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
市内道路インフラ整備について	<p>我々が生活する上で必要不可欠なインフラの一つが道路です。市内の道路や橋梁は車社会の進展とともに安全や効率を優先しながら整備や管理を実施してきました。今後も市民が安心して安全に道路を利用できるような視点で整備や維持管理していくことが求められております。今後の市内道路のインフラ整備について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市の道路整備の基本的な考え方としてどのような選定基準で整備や維持管理をしているのか伺います。 2. 産業道路沿線の JR 踏切は中条駅からクラレ前踏切まで5ヶ所ありますが、車の通行の優先順位が明確でなく危険で、事故も多発しているとの指摘を市民から頂きます。踏切付近の交差点事故防止対策の現状認識と改善策を伺います。 3. 交通渋滞の緩和と解消について伺います。ウオロク中条店が野中に移転して3年半になりますが、ウオロク中条店付近の県道173号中条乙線における夕方の渋滞についての現状認識と関係機関へ改善を求めるべきと思うが。また国道7号線から市役所方面に進み、ちの医院の信号を右折することは厳しい状況です。あわせて、改善を求めるべきと思うが伺います。 4. 市内歩道の整備について伺います。中条小学校の通学路の歩道新設、築地地区の歩道に樹木がせり出し通行できない、県道314号笹口浜線の歩道に防犯灯が無い、歩道に雑草等が繁茂して通行できない等、歩道に関して市民から多数の改善要望が寄せられています。今後の整備の考え方について伺います。 5. 冬期間の除雪について伺います。費用対効果により今後の除雪は消雪パイプでの除雪は行わず、機械除雪にシフトする方針が出されていることと認識しております。特に住宅が密集している若松町や住吉町・あかね町から機械除雪が非常に悪いし、除雪した雪を排雪するところが無いとの要望を多く受けます。今後の改善策について伺います。 	市長

道の駅「胎内」について	<p>本市の道の駅「胎内」は平成6年4月に胎内観音、クアハウスたいない、樽ヶ橋遊園の中心として観光案内を行って参りました。その後、平成22年3月に財団法人日本宝くじ協会から助成を頂き、現在のたるが橋観光交流センターが建設され、本市の観光の拠点として特産品の販売や観光情報を発信しています。我が緑風会では今年10月に青森市の道の駅「なみおか」を視察しました。2022年じゃらん全国道の駅満足度ランキングで1,057ヶ所中5位にランキングされました。もちろん東北地域では1位の道の駅となっております。視察を踏まえ今後の本市の道の駅「胎内」について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 道の駅「胎内」の目指す方向性について <ol style="list-style-type: none"> ①観光拠点として目指す方向性と、今後の設備等の整備計画について ②現状の入込数、売上高、収支実績と今後の計画について ③閑散期(冬季)における集客対策について 2. 多機能型の道の駅としての今後の取り組みについて <ol style="list-style-type: none"> ①地元農家と連携した地場農産品や、特産品の販売計画について ②地元企業や大学と連携しての商品開発や、ここでしか味わえないサービスや商品販売について ③集客にはレストランや喫茶などの併設が不可欠と考えますが、今後の計画について 3. 樽ヶ橋近隣施設の利用促進と、市内学校と連携した取り組みについて <ol style="list-style-type: none"> ①樽ヶ橋遊園、クアハウスたいない、胎内市美術館、越後胎内観音、福祉交流センター有楽荘(誠食堂)、黒川郷土文化伝習館の連携利用割引、市民やシルバー利用、さらに家族連れ割引の検討について ②各施設の利用ポイントカードを発行してのスタンプラリー企画などについて ③小・中学校と連携し、地元施設学習の一環としての積極的な現場授業の場としての活用について 	市長 教育長
市制施行20周年事業について	<p>来年9月で胎内市市制施行20周年を迎えます。節目としてのお祝いイベントと、今後さらに30周年、50周年に向けての取り組みについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 20周年をお祝いしての記念行事等の計画について 2. 今後さらに30周年、50周年に向けて、胎内市への愛着やふるさと胎内としての誇りを深めていくことがまちづくりとして必要と思うが、市長の考えを伺います。 	市長